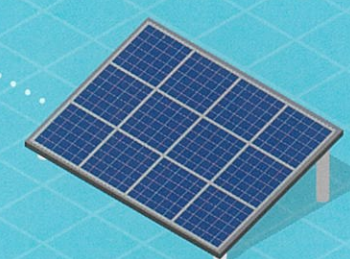


CSR REPORT 2019



あす
未来の地球に
持続可能な環境を
創る企業

KATO



◀ 加藤商事ウェブサイトはこちら!
<http://katosyoji.tokyo>



未来の地球に 持続可能な 環境を創る企業

会社概要

会 社 名	加藤商事株式会社
代 表 者	代表取締役 加藤 宣行
事 業 内 容	環境コンサルティング／容器包装プラスチック・ペットボトルリサイクル業務／一般廃棄物収集運搬業務産業廃棄物収集運搬業務／総合建物管理業務／一般土木、上下水道工事
資 本 金	4,050万円
設 立	1960年4月
従 業 員	163名(2019年4月現在)
事 業 所	本社：東京都東村山市恩多町1丁目12番地3 赤坂営業所／東大和営業所／町田営業所／八王子営業所
主な許可可	産業廃棄物収集運搬業(東京都/埼玉県/神奈川県/千葉県/福島県/山梨県/群馬県) 特別管理産業廃棄物収集運搬業(東京都/埼玉県/神奈川県/千葉県/茨城県/栃木県/群馬県) 産業廃棄物処分業許可(東京都(中間処理)) 廃棄エキスパート(東京都(収集運搬)) 東京都一般建設業((般-25)第101214号(土木/管/とび・土木/ほ装/水道施設工/電気/解体)) ISO14001
情 報 公 開	さんばい情報ネット(http://www2.sanpainet.or.jp/zyohou/)

加藤商事は「次世代に生活する快適さと持続性の調和した環境を残すことが、今存在する当社の責務である」と考え、経営理念を「未来の地球に持続可能な環境を創る企業」とし、社員の思いを集結し全力で事業に取り組んでまいります。

目 次

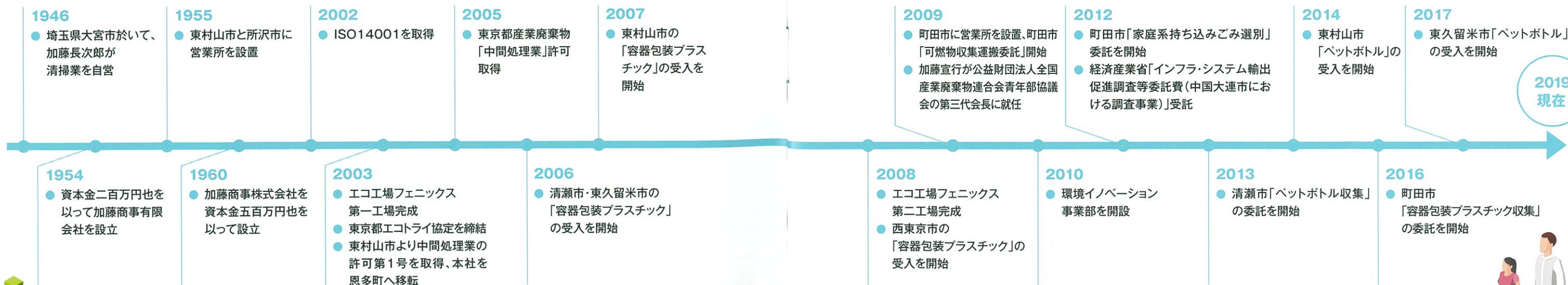
02	会社概要・沿革	12	CS(顧客満足)
03	目次・編集方針	14	環境
04	トップメッセージ	16	地域貢献
06	トピックス	18	安全衛生
08	CSR活動	21	エネルギーデータ
10	人財	22	会社データ

編集方針

本報告書は、加藤商事におけるCSR(Corporate Social Responsibility)の基本的な考え方と取り組み・実績についての情報を開示し、ステークホルダーとの関係を大切にしながら、経営の改善・向上を目的とするものです。重点課題を「人財」「安全衛生」「CS(顧客満足)」「環境」「地域貢献」の5つとし、それぞれの活動を紹介しています。

対 象 期 間	2017年度(2017年4月～2018年3月)、2018年度(2018年4月～2019年3月)
対 象 範 囲	加藤商事株式会社 本社・営業所全体
参考としたガイド ラ イ ン な ど	・ GRI【サステナビリティレポートガイドライン】第4版 ・ 環境省「環境報告ガイドライン」(2018年版) ・ ISO26000「社会的責任に関する手引き」
発 行 日	2019年9月

沿 革



どんな時代でも
必要とされる
企業を目指して、
私たちは日々努力する。

加藤商事株式会社
代表取締役 加藤 宣行



加藤商事のCSR活動

CSR活動はステークホルダーのみならず、当社の経営理念の実現に向けても必要不可欠な活動であり、継続的に行っていくべきだと考えています。一方で、利益の創出なくして企業活動はおろか、CSR活動は成り立ちません。このため、CSR活動は企業の成長と共に発展させるべきだと考えています。

また、国際目標である『持続可能な開発目標』(SDGs)にも積極的に取り組んでまいります。定められた17のゴールに対して、当社の事業活動がどのように貢献できるかという視点を持つことが重要となります。

そのような観点から、今後当社のCSR活動は、事業活動との連動性を強めてまいります。

廃棄物課題の解決に向けて

昨今、海洋プラスチック問題が大きなニュースとなっています。このニュースが大きく取り上げられたこともあり、一般住民の皆様が今まで以上に廃棄物の行方に興味を抱いているように感じています。海洋プラスチック問題を始め、食品ロスやPCB廃棄物を含む有害廃棄物など、廃棄物課題はさらに複雑化しています。それらの課題に対して我々廃棄物処理業者は、まず何が正しいのかを考えなくてはなりません。新聞やニュースから得た情報を鵜呑みにすることなく、常に確かな情報を得る必要があります。

さらに、今後の廃棄物処理を考える上では、廃棄物処理業者だけでなく生産者や消費者、学識経験者も含めて

議論することが大切です。関係者が一体となって最適な行動をとり、実行と反省、改善を繰り返すことが求められます。当社も一般社団法人(JPTA)などを通じて、様々な立場の関係者との取り組みを進めています。廃棄物課題の解決において当社に求められているものは何かを考え、より一層その役割を果たしてまいります。

安全かつ衛生的な労働環境を目指して

廃棄物処理業は全業種の中でも、労働災害発生件数の多い業種です。そのため、どの現場においても安全かつ衛生的な労働環境が一層求められます。社員が安心して働くことができる職場をつくるために、廃棄物業界で実際に起こった労働災害事例を共有することが必要だと考えています。当社も労働災害事例を公開しない時期がありましたが、現在は社内だけでなく同業他社や自治体にも報告・共有し、類似した労働災害の再発防止に努めています。

また、近年の異常気象を受けて、熱中症対策にも力を入れています。社員一人ひとりの体調管理を基本としながらも、時には私自身が実際に現場へ赴き、身を持って体験することを大切にしています。実際の状況を知ることで、自分ごととして改善に取り組むことができるようになります。連続労働時間の削減など、会社としてできる有効な対策をこれからも実施してまいります。

一人ひとりが個性を発揮できる職場へ

「働き方改革」とは“社員の働きやすい環境を担保すること”だと考えています。たとえば業界内では、有給休暇取得率がほぼゼロという企業もあるようですが、当社は有給休暇を始め、産前産後休業・育児休業についても男女問わず、取得率の向上を目指します。一方で、「働き方改革」を進めながら会社の利益拡大を目指すには、事業の効率化が欠かせません。そのためにも、一部業務の自動化、Web会議等を積極的に導入してまいります。

また、社員一人ひとりの個性を存分に活かした企業活動も

行っていきたいと考えています。当社では現在、障がい者雇用を進めています。結果として社員間の工夫や思いやりが生まれやすくなっていると感じています。女性社員についても、これまで積極的に採用を進めてきました。現状に満足することなく、今後は女性管理職の登用を進め社内意見の集約化を図ります。

ハンディキャップやジェンダー等に関わらず、社員それぞれが個性を発揮し、多様性を活かした「ダイバーシティ企業」を目指します。



あす「未来の地球に持続可能な環境を創る」ために

当社はこれまで国内、特に近隣自治体での企業活動を中心としてきましたが、近年は海外展開に関する情報収集や会合への参加を行っています。その理由として、「あす「未来の地球に持続可能な環境を創る企業」という当社の経営理念があります。経営理念の達成には、国内のみならず、世界を視野に入れた企業活動が必要となります。海外展開は企業へのリスクが多く存在しますが、持続可能な環境を創るためには、使命感を持ってチャレンジすることが必要だと考えています。海外展開に向けた活動は今後も継続的に、そして積極的に取り組んでいきます。



加藤商事の社員と共に歩んできた建屋も老朽化が進んでおりました。

そのため2018年度を以って、秋津車庫及び町田営業所は新しくなりました。清潔感があり、ゆとりのある環境にすることで、作業員満足度の向上に貢献しております。地域住民の方への感謝を忘れず、新しい建屋で加藤商事一同邁進してまいります。



秋津車庫



町田営業所



社員の声

秋津

近隣住民の反応

以前は話し声などをご指摘を頂くことがありましたが、建屋を住宅から離れた場所に移設したことで改善されました。新設してから約1年、近隣住民の方からご指摘はなく加藤商事のイメージが転換できている気がします。



事務所移転による変化

お手洗いが土足で入れるようになり、休憩から作業までの流れがスムーズになりました。建屋では、十分な休憩をとることができ、作業の質も高くなっていると感じます。また建て直したことで事業所の現状維持、身だしなみへの意識、収集車の清潔さを保てるようにと従業員の意識改革にも繋がっています。

町田

過ごしやすさについて

大所帯なので洗濯の場所が広がったことや手洗場の使える数が増えたことはありがたいです。また休憩場所としても良く、午後もより集中して作業することができます。



注意している点

営業所の駐車場とごみ収集車用の駐車場の前を、小学生が通ることが多いので、さらに安全運転に気を付けています。



事務所移転による変化

事業所と駐車場が離れたことで、出勤及び休憩後すぐに出発することがなくなったので、前準備を心がける人が増えたように感じます。長く勤めているので、前の事務所への愛着や想いもあり、心境として寂しい気持ちもあります。

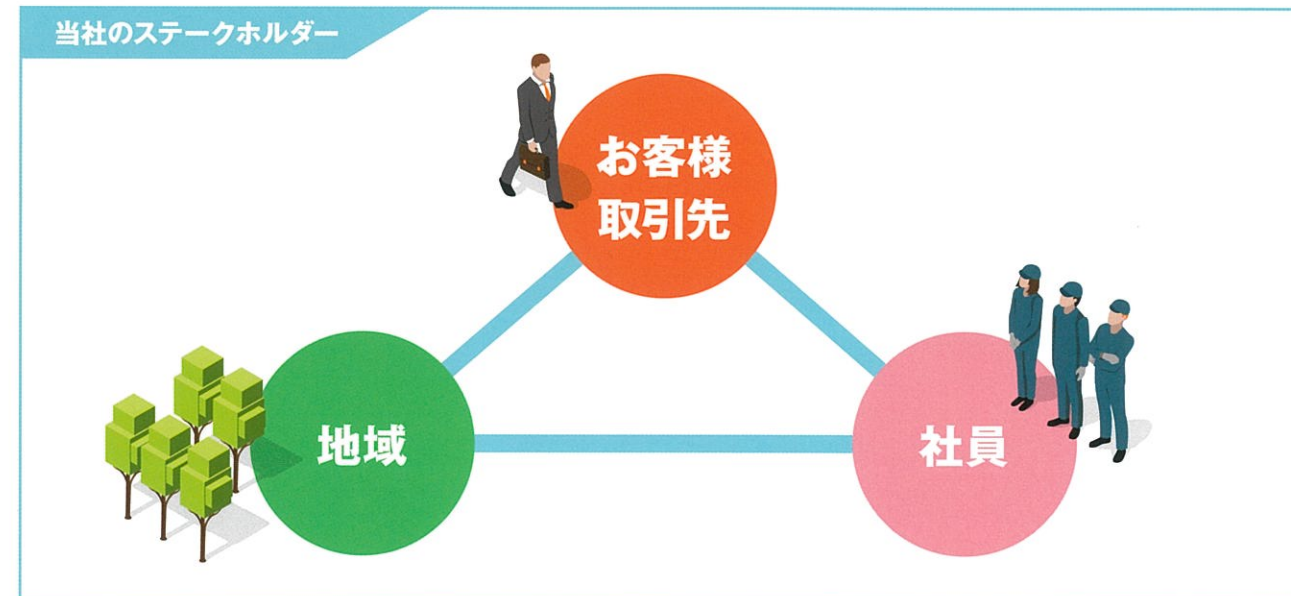


加藤商事のCSR活動

加藤商事のステークホルダー

当社はCSR活動において、ステークホルダーを下記のとおり設定しています。これからもステークホルダーの皆様とコミュニケーションを図りながら、ご期待に応えられるようCSR活動に取り組んでまいります。

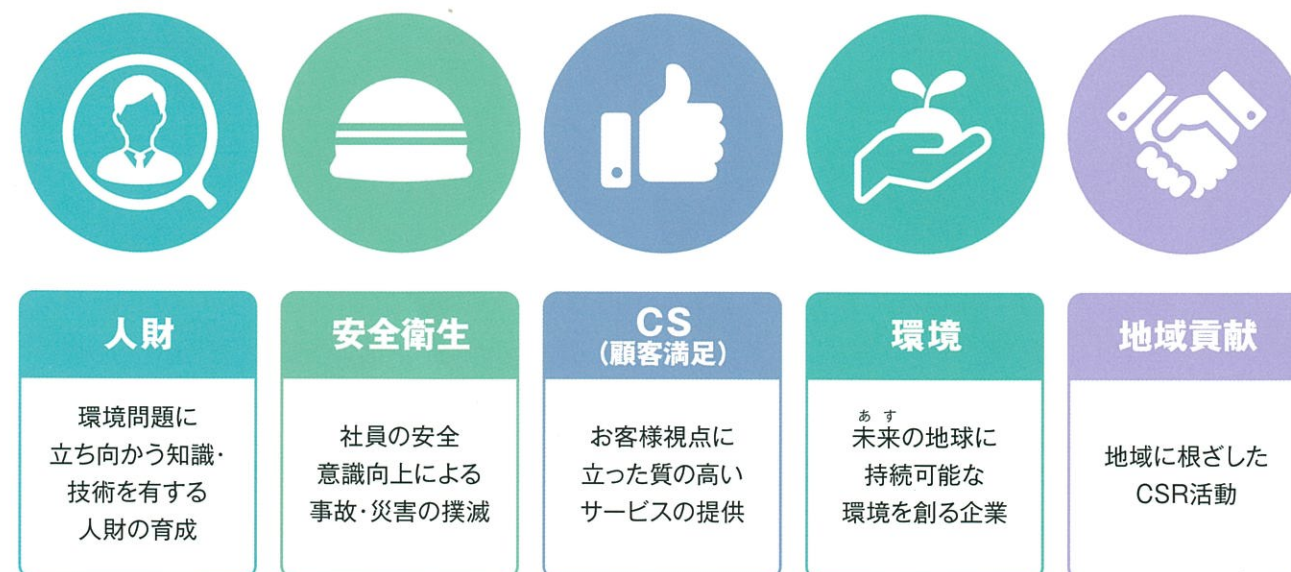
当社のステークホルダー



加藤商事の重点課題(マテリアリティ)

当社はステークホルダーのご期待に沿うものであり、当社にとって重要度の高いテーマを5つ洗い出し、「CSR活動の重点課題」(マテリアリティ)として特定しました。ステークホルダーの皆様のご期待に沿えるよう、重点課題の改善・解決に向けてCSR活動に取り組んでまいります。

加藤商事の重点課題



CSR活動と持続可能な開発目標(SDGs)

当社はこれまで、ステークホルダーの皆様のご期待に沿えるよう、CSR活動を行ってまいりました。今後はより当社のCSR活動を充実化させるため、国際社会によって制定された「持続可能な開発目標」(SDGs)と照らし合わせながら、さらに環境課題の改善に寄与できるようにCSR活動を行ってまいります。

SDGsとは?

国際課題の改善・解決に向けて取り組むために、国際社会が2015年に設定した17の開発目標です。定められた目標は貧困問題や教育問題から、エネルギー問題、生物多様性に対する問題など幅広い分野となっています。課題の所在を発展途上国のみに限定せず、先進国も含めて課題に取り組む事を定めた点が特徴的である、とされています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGsの目標	対応するキーワード	加藤商事の重点課題
8 働きがいも経済成長も 	- 働きがいのある仕事 - 安全・安心な労働環境	 人財 安全衛生
9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	- 質の高い、持続可能な廃棄物処理 - 資源利用効率の向上	 CS (顧客満足) 環境 地域貢献
11 住み続けられるまちづくりを 	- 廃棄物の適正処理による環境影響の軽減 - 総合的な災害リスク管理	 CS (顧客満足) 地域貢献
12 つくる責任 つかう責任 	- 製品ライフサイクルを通じた廃棄物管理 - 廃棄物発生量の大幅な削減	 CS (顧客満足) 地域貢献

「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づく行動計画の策定

女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（通称：女性活躍推進法）に基づき、女性の活躍に必要な社内環境の整備を目的とした、行動計画を策定しました。

自社の状況分析、課題分析を行い、それを解決するための目標および取組内容を定めています。2019年4月～2024年3月までの5年間で第1次行動計画としています。

当社課題

① 女性の採用数が少ない ② 女性の管理職がない

目標1

採用者の女性
比率25%以上を
目指す

目標2

女性社員の
成長機会の
拡大

目標3

女性管理職
候補生の
育成

目標4

男女共に
働きやすい職場風土
整備を行う

情報公表（2019年1月31日時点）

● 正社員における男女比率

男性91% 女性9%

● 新規採用者男女比率 2018年度

男性80% 女性20%

● 正社員における平均勤続年数

男性 7.8年
女性 4.4年

● 管理職に占める女性労働者の割合

男性100%

● 係長職に占める女性労働者の割合

男性80% 女性20%

エコ工場フェニックスでの女性社員採用

当社では、収集運搬業務、エコ工場フェニックスの工場業務で女性社員を採用しています。現在、収集運搬業務1名、工場業務2名、合計3名の女性が現場作業に従事しています。女性ならではの視点で、丁寧かつ効率的な作業を行っています。今後も女性社員の採用を検討し、職場環境の整備を進めていきます。

▶ 工場業務に従事する女性社員の声

男性作業員の割合が高いということとで委縮してしまうと思っていましたが、女性の私にも分け隔てなく気さくに接して下さるので楽しく働くことができます。また私が力仕事をしているときには率先して代わって下さるので大変助かっています。



現場作業という言葉から長時間の肉体労働をイメージしていましたが、まめに休憩をいただけるので良い意味で意外でした。優しい方ばかりで居心地が良く、無理せず働くことのできる素晴らしい職場環境だと思います。



障がい者雇用

エコ工場フェニックスでは社会福祉法人東京コロニー様と連携し、平成21年度から障がい者雇用を積極的に進めております。現在、精神障がい者4名、身体障がい者1名、合計5名が工場業務に従事しています。研修期間を設け、実際の業務を体験した後に、就業時間や業務内容について、一人ひとりに適した働き方を話し合っています。

また、相談しやすい関係性を築くために、「障がい者サポーター養成講座」に参加しています。社内の支援体制から障がい特性を考えた実務支援の方法を学び、理解を深め、日頃のコミュニケーションを大切にしています。

▶ 障がい者社員の声

勤務時間や通院、諸事情などの相談しやすい友好的な関係性を築くことができます。こちらの事情を理解していただき、それに合わせた提案をしていただける働きやすい職場で助かっています。



選別作業は、異物やペットボトルなど選別対象のものを探す遊び心を持って行うのが、集中力を保つ秘訣です。年に一度のベール検査では今年も良い評価をいただくことができました。吉報を聞いたときは、工場作業員全員で喜びを分かち合うことができ嬉しかったです。



産前産後休業、育児休業制度の利用

出産を控えた社員および育児する社員を対象に制度を設けています。これまで制度はあるものの、利用する社員がいませんでしたが、平成29年度ならびに平成30年度に1名ずつ制度を利用しました。制度を利用した社員は全員復職し、時短勤務等の制度を利用しながら仕事と育児を両立しています。今後も結婚や出産、育児等のライフイベントに関わる社員の継続就業を支援していきます。

▶ 制度を利用した社員の声

休業期間は自分自身を見直す貴重な時間でした。母親という立場になり、育児を通して私自身の物の見方が大きく変わりました。特に大きな変化だったのは仕事とプライベートのメリハリがつけられるようになったことです。家事や育児があるので、定時退社を目指した効率的なスケジュール管理を徹底しています。プライベートの時間をしっかりと確保することで、翌日の仕事を頑張る活力になると気がきました。これが良いサイクルとなっていて、仕事もプライベートも充実して過ごせています。私は、女性だからといってキャリアを諦めたくないという気持ちを強く持っています。今後この制度を活用し、職場復帰できる環境や体制を確立していき、個人に合わせた様々な働き方ができるようになってほしいと思います。



トピックス

● 赤坂営業所が「港区ワーク・ライフ・バランス推進企業」に認定されました

港区では、仕事と子育ての両立や、男女がともに働きやすい職場の実現に向けて、ワーク・ライフ・バランスに取り組んでいる企業を「港区ワーク・ライフ・バランス推進企業」として認定し、取組みを支援しています。

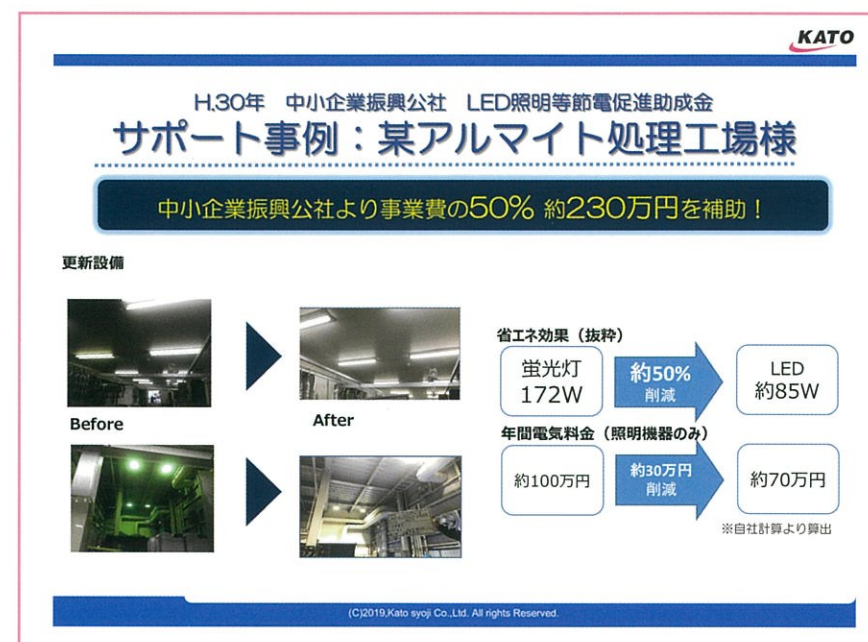
赤坂営業所は、「子育て支援分野」と「働きやすい職場環境づくり分野」の2分野に対する企業姿勢が評価されました。今後も多様化する働き方に対して、社員が働きやすい環境の整備を進めていきます。



顧客満足 (CS) 加藤商事では各事業部でお客様へ満足して頂けるサービス提供を心掛けています

補助金を利用した商材導入のご提案

当社は、照明・空調設備の更新のご提案を通してお客様の省エネ・環境活動をサポートしています。工場・施設・倉庫で使用されている照明は、水銀灯などの大型の照明や数多くの蛍光灯が設置されており更新に多大なコストがかかります。LED照明の更新においてはお客様にあった助成金を提案・活用することにより初期投資を抑えた導入を可能にいたしました。



都内に事業所をお持ちのお客様には東京都の補助金を活用しました。



約16t-CO₂/年
(杉の木約17,000本分)
の削減になりました！



PCB含有安定器照明を使用していたお客様には環境省の補助金を活用しました。



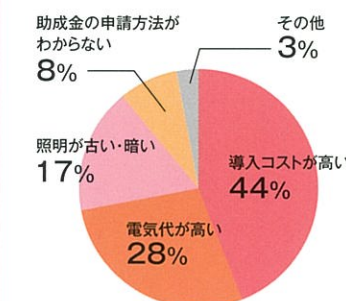
約37t-CO₂/年
(杉の木約40,000本分)
の削減になりました！

補助金活用には条件があり補助率や補助対象製品も様々にございます。当社は毎月メールマガジンを発信しており、LED照明をはじめとした省エネ商材、助成金情報をご案内しております。ご活用を検討される際には一度お声掛けください。

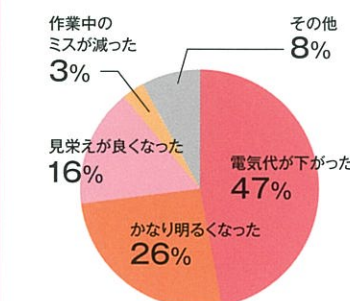
顧客アンケートの実施

商品のご購入・工事をさせて頂いたお客様フォローとして、顧客アンケートを実施しました。実際に頂きましたお客様の声として、“照明導入がきっかけとなり、他の商材にも興味を持った” “不具合が起きた際は早急な対応で良かった”等の声を頂いております。今後もお客様の課題解決に向けより一層努力してまいります。

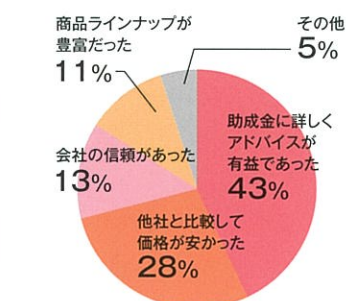
▶ LED導入前に困っていたこと



▶ LED更新をして得られた成果



▶ 加藤商事から商品を購入した理由



現場作業における顧客満足

市内家庭ごみ収集

当社が行っている家庭ごみ収集では市民の皆様を第一に考え、社員一丸となって安全作業・安全運転を心がけています。日々の心がけの結果、毎年感謝のお手紙を市民の方々から頂きます。今期は物損事故を起こした際の早急な対応やごみの出し方に関するアドバイスに対してお礼を頂きました。今後も市民の皆様はお客様という考えを忘れず、皆様とコミュニケーションを取りながら日々の作業を行っていきます。



受水槽・排水溝清掃

当社では受水槽や排水溝清掃など、ビルや店舗の衛生環境を維持するための事業を行っています。今回は実際に現場作業を行う総合建物管理課にインタビューを行いました。

- Q 作業をする上で心掛けていることは？
- A 危険が伴う作業を任されているので、「事故なし・怪我なし・丁寧に」をモットーにしています。基本に忠実な安全作業を徹底していますので、過去5年の事故件数は0件となっています。
- Q 加藤商事の総合建物管理課の強みは？
- A やはり安全作業を徹底できるところでしょうか。また、お客様からの急なご依頼を頂くことも多いので、作業から報告書作成までお客様のご都合やご要望に柔軟に対応できることも強みですね。納期の厳守、かつ迅速な安全作業が何よりお客様の信頼に繋がっていると感じます。
- Q お客様へ向けて
- A 私たちはお客様が見えない部分、気になっていても手の届かない部分を任されています。今後も安全作業を徹底し、高品質なサービスをご提供できるように真心をこめて作業いたします。



総合建物管理課
課長 小川 直紀



当社はISO14001の認証を取得し、環境マネジメントの継続的改善を図っています。
2015年の規格改正に伴い、本業と環境改善をリンクさせたマネジメントが求められるようになりました。当社は、本業として環境商材の販売や環境サービスの提供を行っているため、環境商材販売・サービスの普及(=売上向上)を環境目標のひとつとして定めています。

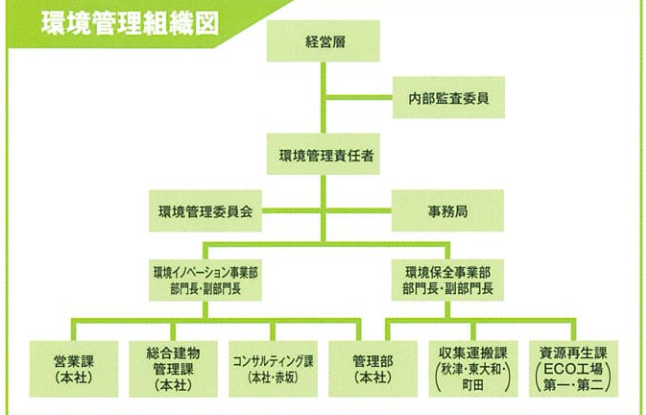
環境保全事業部	
環境管理重点テーマ	廃棄物の適正処理・リサイクル率の向上に貢献します。また、事故ゼロに努め、地域を守る存在としての役割を果たします。
第59期目標	① 作業品質の向上(各市Aランク・サンキューメッセージ増) ② 教育 ③ 危険予知意識の向上
第59期実績	・使用車両の整備(計画の100%実施率) ・ペール社内検査4回/年実施 ・ヒヤリハット情報の発信(事故防止対策委員会開催後1週間以内)
環境イノベーション事業部	
環境管理重点テーマ	環境分野の専門家としての力量を積み重ねることで、新たな環境関連サービスの提供や、顧客及び社会に対する啓発活動を行います。
第59期目標	<営業課> ① 既存物件の継続的受注(死守)と売上の拡大 ② 新規受注に向けて営業活動 ③ 競争力の強化及び社員の育成・指導強化 <コンサルティング課> 売上目標の達成 <総合建物管理課> ・定期業務の継続的受注と売上の拡大、品質向上、無事故作業 ・PCB選別作業及び全数調査作業に於ける管理者の育成・技術者の育成知識技術の習得 他
第59期実績	<営業課> ・既存案件受託 ・他部署の売上貢献 ・業務増加を予測した資格者の増員 <コンサルティング課> コンサルチーム 目標数値達成 <総合建物管理課> ・百貨店作業及びグリストラップ清掃作業共に無事故 ・グリストラップ清掃作業は売上増加 ・PCBに関する講習を計画的に受講
管理部	
環境管理重点テーマ	社内サポートを充実させることで、全従業員が環境管理活動・地域貢献活動に取り組める体制を築きます。
第59期目標	① BCP(事業継続計画)の周知及び浸透 ② 就業規則の見直し ③ 社内サポートの充実
第59期実績	・BCPに伴う訓練を2回実施 ・法改正に伴う就業規則の見直し ・必要人員確保

第59期は前期第三者審査で指摘のあった2015年版規格の要求事項を満たしていない項目への対応の他、以下の活動に注力しました。

第59期活動ポイント

現場の社員までISOの理解を深めるため、環境マネジメントシステムの運用や審査に携わるメンバーの見直しを行いました。具体的には、以下の2点を実施しました。

- 1 現副部門長の設置：部門長(ベテラン)から副部門長(後継者)への引継ぎ体制をつくる。
- 2 各課のISO担当者の増員：社員ひとりひとりまでISOの理解を浸透させる。



ECO工場のISO担当者となった、資源再生課の石川さん・野崎さんにインタビュー!!

Q.ISOをこれからどのように生かしていきたいですか?



石川善之さん

社員ひとりひとりが様々な考え方を持っている中で、それらを集約し、相互理解を深めながらISOを活用できれば良いと思います。ISOの理解を社内に浸透させようという動きに賛同します。



野崎貴志さん

現場の社員も、ISOを知るきっかけがあると良いです。たとえば、目標を掲げて達成した時に達成感が得られるような方法があれば、ISOをより身近に感じられると思います。

過去3年間の第三者審査結果

実施日	重大な不適合	軽微な不適合	改善の機会	よい点 (グッドポイント)
2018年9月4日 第9回サーベライズ審査	なし	2件	20件	7件
2017年8月3.4日 第4回更新審査	なし	1件	29件	6件
2016年9月6日 第8回サーベライズ審査	なし	1件	13件	5件

第59期 審査員から“グッドポイント”

- 1 容器包装プラスチックのペールの品質管理が行き届いており、Aランクという良好な成果が出ていた。
- 2 エコ工場の3S(整理・整頓・清掃)が良好であった。
- 3 エコ工場内に掲示されている「包装ペール品質評価記録書」は品質向上の有効な教材かつ内部コミュニケーションツールとして評価された。
- 4 収集運搬業務では車両事故防止に向けて乗務員の研修や、「危険箇所リスト」を用いた指導が行われていた。
- 5 2018年8月より収集運搬の新事務所が運用開始し、シャワー機能やバスタブの設置、広い仮眠室の設置等従業員の満足度を高めていた。
- 6 PCB廃棄物処理業務では期限内処理の早期達成や、保管事業者のコスト削減につながっていた。
- 7 グリストラップ清掃業務では、お客様との様々なコミュニケーションが図られていた。

第60期は、「現場の社員も含めたISOに関する集まりを定期的 to開催する」「改正された規格により適合させる(ライフサイクル思考、パフォーマンス評価)」ことに取り組む予定です。

地域貢献

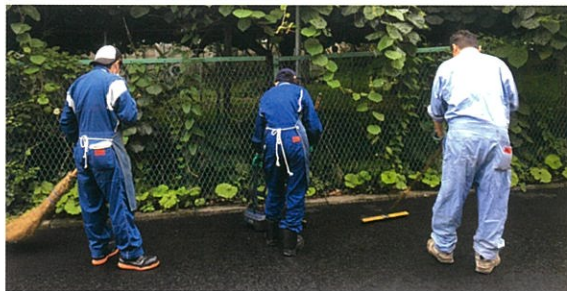


エコ工場フェニックスの取組み

当社では、容器包装プラスチックのリサイクルをはじめとする循環型社会の実現に向けて、より多くの方に関心と理解を深めていただくため、エコ工場フェニックスにおいて、職場体験や工場見学の受入れを行っています。また、社員による地域の清掃ボランティア活動を継続的にを行っています。

清掃ボランティア

毎週月曜日にエコ工場フェニックスの周辺の清掃ボランティアを行っています。週の始まりということもあり、気持ちの良い環境作りをする上で欠かせない作業です。この活動は、社員が主体的に始めた活動で、現在当社の企業文化になっております。今後も継続して活動に取り組んでまいります。



工場見学

定期的に工場見学を開催して、普段市民の皆様が出している容器包装プラスチックの処理フローの説明をしております。この工場見学を通して、毎日自分たちが出しているごみの量の多さに気がつく方がたくさんいらっしゃいました。このように小さな気付きを与えることにより、環境問題についての意識づけをしております。



地域住民との交流

きよせの環境・川まつりへの参加

清瀬市清掃事業協同組合のブースでクイズを通して地域住民との交流を深めました。クイズは、「森・水・温暖化・ごみ」の4つのテーマに沿って出題しました。多くの子どもたちや市民の皆様が興味を持ってブースに立ち寄って下さいました。年々猛暑、豪雨、積雪、大型台風など、大きな被害をもたらす災害が増えています。一概には言えませんが、地球温暖化による影響は大きいと思われます。環境教育は地域住民との交流だけでなくこれからの社会を担っていくため、持続可能な社会をつくるためのとても大切な要素と考えます。これからも引き続き取り組んでまいります。



東村山リサイクルフェア

当社がある東村山市では、市民・事業者・行政が連携して3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進に取り組んでいます。その一環としてリサイクルフェアが毎年開催され、当社を含めた事業者で構成される東村山市環境整備事業協同組合も参加しております。昨年は、「やってみて あなたもできる リサイクル」をスローガンのもと、多くの方にご来場いただきました。当ブースでは、日頃市内でごみの回収を行っている収集車両の展示と、親子そろっての収集車との写真撮影を行い、大盛況でした。また、小学生以下の児童を対象とした環境標語の募集を行いました。優秀作品を貼った収集車両が走行する予定です。



環境教育

当社では、「^{あす}未来の地球に持続可能な環境を創る企業」という経営理念を掲げており、次の世代に持続可能な環境を継承していくことが当社の使命であると考え、環境教育を積極的に行っています。

昨年度は、きよせ幼稚園の園児を対象に、環境教育を実施しました。ワケレンジャー講師によるごみと資源の違いのレクチャーや、ごみ収集車への積み込み体験を行いました。これらの授業を通じて、子どもたちがごみの分別や環境問題に関心を持つきっかけになればと考えております。



過去の地域貢献の取組み一覧



期日	名称	内容
2017年 7月	平成29年度 きよせ環境・川まつり	森、川、温暖化、ごみをコンセプトとしたクイズを通じて、環境について学ぶブースを出展しました。
2017年 9月	職場体験	東村山市内の中学生4名に、2日間、エコ工場にて選別作業などの職場体験を行っていただきました。
2017年11月	東村山市民まつり	より多くの方に身近に感じてもらうため、手作りダーツゲームのブースを出展し、たくさんの地域の方々に足を運んでいただきました。
2017年11月	出前授業	きよせ幼稚園様にて出前授業を行いました。「しげん(資源)とは何かな?」というワケレンジャー講師によるクイズの後に、実際にごみ収集車への積み込み体験を行っていただきました。
2018年 6月	ワークショップ	参加してくれた子どもたちにごみの分別のやり方と、おもちゃの車を使って回収の体験をして貰いました。最初は緊張した面持ちでしたが、徐々に笑顔を見せてくれるようになり、分別・リサイクルについて知ってもらうきっかけになりました。
2018年10月	東村山市 リサイクルフェア	「やってみて あなたもできる リサイクル」のスローガンのもと、3Rの大切さを伝えるブースを設けた皆さんの市民の方に足を運んでいただきました。
2018年11月	出前授業	きよせ幼稚園様にて出前授業を行いました。「しげん(資源)とは何かな?」という紙芝居のクイズとワケレンジャー講師のショータイム後に、実際にごみ収集車への積み込み体験を行っていただきました。

定期的に「部門安全ミーティング」と「事故防止対策委員会」を開催して各事業所で意見交換や情報共有を行い、作業の質を高め、地域の方々とより良い関係を築けるように日々精進しております。

部門安全ミーティング

本社/秋津事業所/東大和営業所において、日々の回収方法に関する意見交換や情報共有を行っています。また、車両の停車位置や使用方法、点検方法も周知を徹底し、予防安全に努めています。特に若年層作業員には添乗指導とフィードバックを実施しています。部門安全ミーティングを定期的、かつ継続的に実施することで、トラブル件数の減少だけでなく、作業員からの報告が素早く、詳細なものになってきています。ごみの回収業務における日頃の小さな行動が、苦情やトラブルの種となることを課員は理解しています。当たり前の継続の為に、小さなことを馬鹿にせず意見を交わし合い質の向上に活かしています。

事故防止対策委員会

各事業所/営業所で開催される部門安全ミーティングと異なり、当社全体で安全に向けた取組みを共有することを目的に開催しています。各所で実施された部門安全ミーティングや、車両及び機械の点検計画・点検方法・実施状況などを報告、共有することで、社内での情報共有不足の防止を目指しています。また、社内での取組みを共有するだけでなく、外部メーカーを講師としてお招きし、事故や労働災害を未然に防止するための勉強会も開催しています。日々の業務の中で、思い込みや自己流の方法を行ってしまうと、事故や労働災害が発生する危険性が高まります。適正な業務の見直しや法令順守について学びなおす機会と捉えて、今後も原則全員参加で実施します。



無事故表彰者数

当社では1年間無事故(交通事故・車両事故・顧客トラブル・労働災害)を達成した社員への表彰、5年間、または10年間無事故を達成した社員には『特別優良運転者』として表彰と褒賞を行っています。2018年度は、5年間無事故表彰者が9名、10年間無事故表彰者が1名となりました。

年	本社		秋津		東大和		町田		合計		
	該当者 (人)	総数 (人)	該当者 (人)	総数 (人)	該当者 (人)	総数 (人)	該当者 (人)	総数 (人)	該当者 (人)	総数 (人)	割合 (%)
2010	10	10	33	38	17	18	4	6	64	72	89%
2011	12	14	32	37	15	18	9	11	68	80	85%
2012	15	16	27	36	16	18	11	11	69	81	85%
2013	15	17	27	34	17	18	11	13	70	82	85%
2014	9	13	36	38	17	18	13	14	75	83	90%
2015	15	17	37	38	21	22	15	16	88	93	95%
2016	14	17	35	38	21	24	14	16	84	95	88%
2017	18	18	31	39	20	23	24	24	93	104	89%
2018	20	21	36	39	19	22	24	25	99	107	93%

2019年度社内安全スローガン

その思いやりがみんなを明るくする
すべてはみんなの笑顔のために

当社では毎年社員から「社内安全スローガン」を募集しています。採用されたスローガンは各事業所内の目立つ場所に掲載され、日々社員の安全意識向上に役立っております。

今年度は町田営業所の収集運搬課所属、前田禎憲さんのスローガンが採用されたためインタビューを行いました。

Q スローガンに込められた思いとは?

A 私は「スクールウォーズ」というラグビードラマが大好きで、“One for All, All for One”と「思いやり」、という言葉に常に大事にしています。

また、東日本大震災の追悼テレビ番組で、ある高齢の方が話していた「みんなの笑顔が見られるようになったらいい」という言葉が、心に残っています。これらの言葉を安全と紐付けて考えたときに思いつきました。

私が入社した時にも、先輩方から温かい言葉を頂きました。そのような思いやりのある対応を思い出し、小さな事でも積み重なれば大きな力になるのだと確信しています。思いやり=安全との思いで、車や機械を扱う業務を実直に行っていきます。

Q 周りからの反響は?

A 一致団結できる言葉だねと声をかけられました。事務所内の目に付くところに掲示してあるので、意識向上に繋がっていると感じます。

Q 日頃業務中に心掛けていることや注意していることは?

A 今は大型車両での運搬業務が主なので、大きく目立つ社名のイメージ向上を日々意識しています。

万が一事故、トラブルになった際には、時間はもちろんのこと交通渋滞や二次災害を引き起こしかねないこと、お客様に迷惑がかかることを常に念頭に置き、無理のない運転を心がけています。

時には気が立つこともありますが、小さな我慢をして無事に業務を完了した後の夕食は格別

に美味しく感じます。

また、大きな車両は子どもに人気があるみたいで、信号待ちなどでは手を振ってくれます。その子どもたちに毎日会えることも楽しみの一つです。

Q 全国の同業他社さんへ一言

A 同業他社さんとは、すれ違うたびに手を上げたり会釈をしたりと、言葉を交わさなくても何かお互いに労っているように感じています。いつまでもそのような習慣を残していければ、業界のイメージもさらに向上すると思います。

Q 今後の抱負

A 入社4年目で仕事にも慣れてきて、少しずつ周りを見渡す余裕が出てきました。せっかくこの職種、業界に就いたので業界のイメージアップや、子どもたちへの環境教育などにも取り組んでいけたら、と思います。そのために、まずは日々の業務を大事にしていきたいです。



BCP(Business Continuity Plan)の取組み

当社は、大規模災害発生時でも、事業の継続や早期復旧を図るための必要な対策・手順について計画を立て、危機管理の徹底に取り組んでいます。

BCPを導入したきっかけは、2011年の3月に発生した東日本大震災です。多くの企業が事業を継続することができなかったこともあり、2015年にBCPの第一版を策定しました。BCPの基本方針は、お客様や地域の皆様からの信頼に応えるため、いかなる環境下においても、平常時と変わらぬサービスを提供し続けることを当社の責務と考え、本事業継続計画を策定し、継続的に運用し、改善していきます。BCPを策定する上で、方針に沿った3つの目的を柱と掲げました。

BCP策定・運用の目的

基本方針に則り、下記3つの目的を柱として、BCPを策定し、運用します。

お客様
(信頼と責任)

お客様へのサービス継続を目指します

▶ 想定されるリスクを予防するとともに、被害の最小化と迅速な復旧による責任を果たします。

社員
(人命と雇用)

社員とその家族の安心安全を守ります

▶ 社員とその家族の安否確認、安全確保を最優先とし、安心して働き続けられる環境を創ります。

地域
(協調と貢献)

地域と協調し復旧活動に貢献します

▶ 地域の一員として、自発的に応急復旧に協力できる企業文化を創ります。

今回は、BCPの事務局長である環境イノベーション事業部コンサルティング課の高橋祐一さんにインタビューを行いました。

Q BCPの重要性とは？

A 東日本大震災が発生した際は、大量の廃棄物の処理や、し尿・生活排水処理が問題となりました。一般廃棄物の処理を扱っている当社では、大規模災害時にも地域の皆様に安心していただけるような仕組みを事前に作成しておくことが重要だと感じています。

Q BCPで苦労したこととは？

A BCPの策定に必要なスキルやノウハウを持った人材がいない、情報が少ない、実効性を確保できているかわからない等、様々な点で苦労しました。策定後は、BCPの知識を深めるために、当社代表の加藤が代表を務める三多摩清掃事業協同組合主催の、全組合員を対象としたBCP策定講習会に参加し、その重要性を再確認することができました。業者間の連携を進めるためにも、情報交換を密にしていきたいです。

Q BCPの効果とは？

A BCPを導入したことにより、会社としての意識が高くなったと感じています。社員の安否確認をする際に、ANPICという安否確認システムを導入し、2018年に模擬訓練を行った際は、返信率が100%を達成することができました。これから定期的に教育訓練を行っていく予定ですので、いざというときに迅速に動けるようにしていきます。



安否確認システム (ANPIC)

Q BCPの課題と今後

A BCPの課題として2点課題があると感じています。1点目は、活動成果が見えづらいことで、継続的な活動が進まないことです。事業の継続能力を測る基準を確立し、活動状況とリンクさせることで活動成果の評価基準とすることが必要と考えています。2点目は、三多摩清掃事業協同組合等との連携体制を進めることです。災害が起こった際は、当社だけでは対応しきれないことが発生する可能性が高いため、当社だけでBCPを進めるのではなく、周りの企業も巻き込みながら取り組んでいきたいと考えています。BCPの策定業務を単なる災害対策と捉えるのではなく、経営的な視点で捉えることにより、非常時の対応だけでなく、経営活動の効率化にも繋がると考えています。

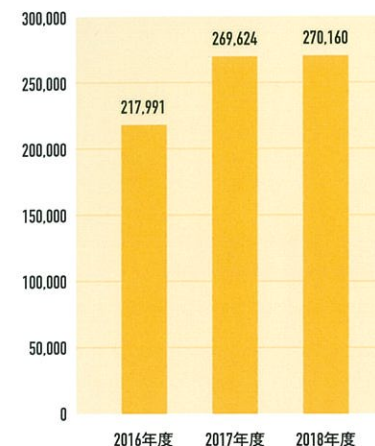


BCP事務局長 高橋 祐一

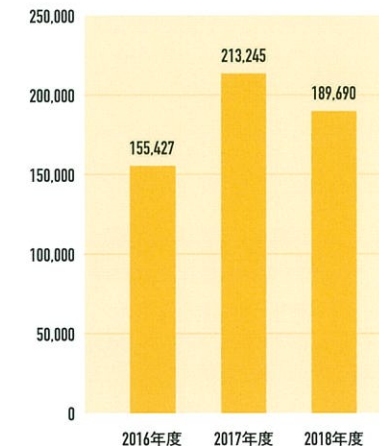
エネルギーデータ



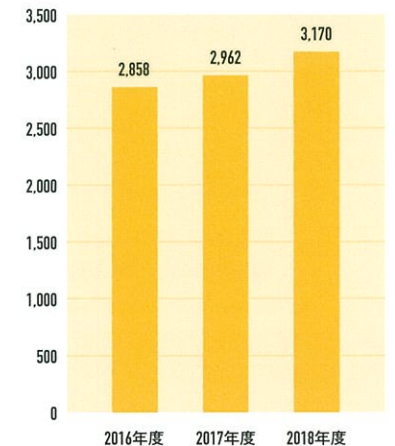
当社のエネルギー使用は、工場における容器包装プラスチックとペットボトルの圧縮梱包に係る電力と収集運搬車両の燃料である軽油が中心となります。軽油使用量について、2017年度は車両台数増加に伴い増加しましたが、2018年度は町田営業所の収集運搬走行距離の短縮により、減少したと考えられます。



電気(kWh)



軽油(L)



水(m³)

KATO太陽光レポート

2015年度より稼働を始めた茨城県鉾田市2MWのメガソーラーをはじめ、各発電所では順調に発電、売電をしています。

● 太陽光発電システム概要

鉾田市秋山発電所



航空写真

設置場所	茨城県鉾田市秋山
定格出力	2MW
売電単価(税抜)	40円

2018年度の発電量

約268万kwh

CO₂削減量

約1,350t-CO₂/kg

筑西市成井発電所



2018年度の発電量

約64,700kWh

CO₂削減量

約33t-CO₂/kg

東村山本社発電所



2018年度の発電量

約25,000kWh

CO₂削減量

約13t-CO₂/kg

赤坂営業所発電所



2018年度の発電量

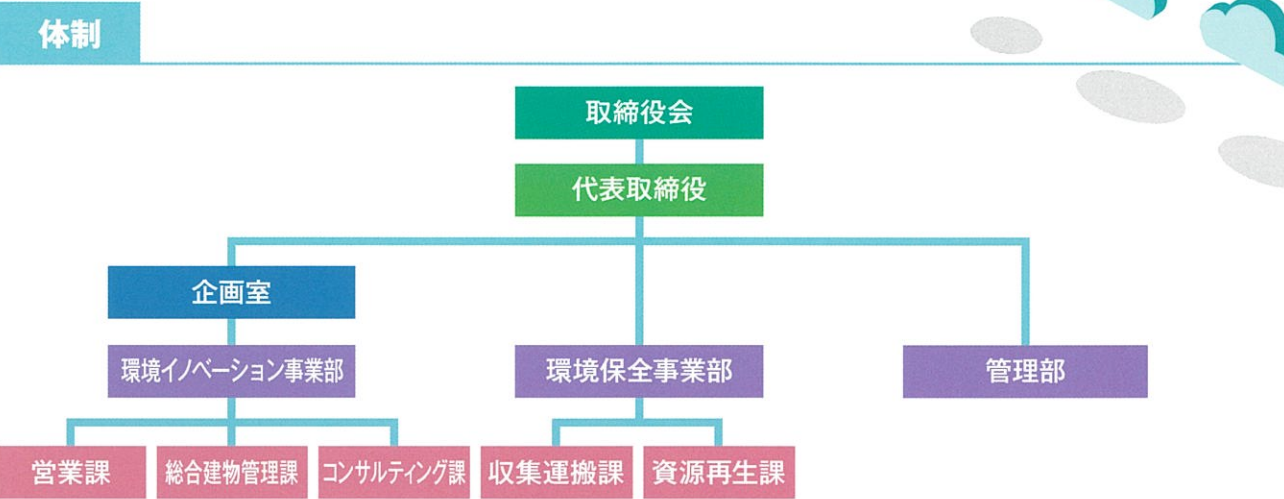
約2,100kWh

CO₂削減量

約1t-CO₂/kg

参考URL「太陽光ビジネス『太陽光発電でどれだけのCO2を削減できますか?』」 <http://taiyo-biz.jp/question/others/co2.php>

会社データ



財務情報

	58期	59期	60期
売上高	1,426	1,460	1,479
営業利益	68	81	1※

※ 60期営業利益：町田営業所及び秋津車庫の移転・建替え費用により営業利益が減少している。

社員情報

① 平均年齢	男性：42.1歳 女性：37.3歳	④ 育児休業利用者数	2名
② 正社員の平均勤続年数	男性：7.8年 女性：4.4年	⑤ 健康診断受診率	100%
③ 障がい者雇用率	3.23%	⑥ 有給休暇消化率	全社員平均60% 有給休暇消化率：取得日数／付与日数

法令等順守状況

法律等名称	区分	順守状況
廃棄物処理及び清掃に関する法律	廃棄物	○
浄化槽法	廃棄物	○
容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律	廃棄物	○
消防法	防災	○
騒音規制法	騒音	○
振動規制法	振動	○
悪臭防止法	悪臭	○
自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法(自動車NOx・PM法)	大気保全	○
電気工事士法	電気	○
労働安全衛生法	安全衛生	○
公共工事標準請負契約約款	品質	○
建築物における衛生的環境の確保に関する法律	その他	○
酸素欠乏症等防止規則	その他	○
貨物自動車運送事業輸送安全規則	その他	○
道路運送車両法施行規則	その他	○

※ISO「法的及びその他の要求事項一覧表」より抜粋

許可情報

● 産業廃棄物 処分業許可

交付自治体	許可番号	認定	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	動物のふん尿	動物の死体	13号廃棄物
東京都	第1320031111号	優良						○														

○：処分業の許可有り 空欄：許可無し

● 産業廃棄物 収集運搬業許可

交付自治体	許可番号	認定	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	動物のふん尿	動物の死体	13号廃棄物
福島県	第0707031111号	優良	○	○				○			○	○						○				
群馬県	第1000031111号	優良	○	○	○			○		○	○	○	○		○	○	○	○				
埼玉県	第1102031111号	優良	○	○	○			○		○	○		○		○	○	○	○				
千葉県	第1200031111号	優良	○	○	○			○			○	○	○					○				
東京都	第1310031111号	優良	○	○	○	○	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○				
神奈川県	第1402031111号	優良	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○	○	○				
山梨県	第1900031111号	優良	○	○																		

○：収集・運搬業許可有り(積替え保管無し) ●：収集・運搬業許可有り(積替え保管有り) 空欄：許可無し

● 特別管理産業廃棄物 収集運搬業許可

交付自治体	許可番号	認定	廃油	廃酸	廃アルカリ	鉱さい	ばいじん	燃え殻	汚泥	指定下水道汚泥	処理物	感染性産業廃棄物	廃PCB等	PCB汚染物等	PCB処理物等	廃石棉等	廃水銀等
茨城県	第00851031111号	なし	○	○	○		○	○	○				○	○	○		
栃木県	第00950031111号	なし	○	○	○		○	○	○				○	○			
群馬県	第01050031111号	なし	○	○	○		○	○					○	○			
埼玉県	第01150031111号	なし	○	○	○								○	○			
千葉県	第01250031111号	なし	○	○	○		○	○	○				○	○	○		
東京都	第1357031111号	なし	○	○	○		○	○	○				○	○	○		
神奈川県	第01450031111号	なし	○	○	○		○	○	○				○	○	○		

○：収集・運搬業許可有り(積替え保管無し) 空欄：許可無し